

令和5年度 助産師セミナー&交流会終了後アンケート結果

2023年3月11日記

結果分析・評価担当：本学看護学科 母性看護学・助産学領域

出村唯、吉原茉寿、吉本朋加、山内まゆみ

- ・調査方法：インターネット（Google フォーム）によるアンケート項目の閲覧を当日依頼し、オンラインによる回答により回収した。参加者40名（在校生26名、卒業生14名）全員に依頼した。
- ・調査期間：2023年3月8日終了後～3月10日
- ・回収数・回収率：40名（在校生26名、卒業生14名）へ配布し、37名から回収した（回収率92.5%）。

1.参加者数

- 助産師セミナー（午前の部）37名
- 助産師交流会（午後の部）31名

参加者数37名中、在校生23名、卒業生は14名であった。参加した今年度の助産師セミナーのテーマは、卒業生のキャリアに関するものであった。セミナー卒業生を対象とした会であるが、本年度のテーマは在校生にも未来のキャリア形成の参考になることから、今年度は在校生の参加も認めたことで聴講者の増加にもつながった（昨年度の卒業生参加数が8名）。

2.本会のインフォメーション時期は、出席の有無を決定するのに適切でしたか。

表1 本会のインフォメーション時期

	計	%
①適当	36	97.3
②早すぎる	1	2.7
③遅すぎる	0	0

<自由記載>

テスト期間を挟んでいたことや、帰省時期が未定のため申し込みの連絡がなかなかできなかったという声があがっていたと感じる。テスト終了時期に連絡した方が予定の見通しが立ちやすいのではないかと感じる。

本会のインフォメーション時期は、適当が36名（97.3%）、早すぎるが1名（2.7%）であった。今年度のインフォメーションは卒業生・在校生ともに1月中旬に行い、2月下旬に申し込みを締め切っており、97%以上の参加者から適当と評価を得た。卒業生の勤務希望の締め切り日時や在校生の試験期間を考慮すると、これ以上インフォメーションの時期を遅くすることは現実的でないと考える。

3.開催時期は適当でしたか。

表2 開催時期

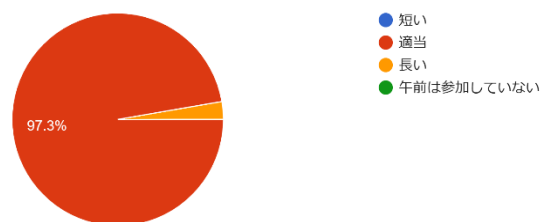
	計	%
①適当	37	100.0
②無理して参加した	0	0.0

4.助産師セミナー（午前）の開催所要時間は適当でしたか。

表3 助産師セミナーの開催所要時間

	計	%
①適当	36	97.3
②短い	0	0.0
③長い	1	2.7
④午前は参加していない	0	0

図1 助産師セミナーの開催所要時間

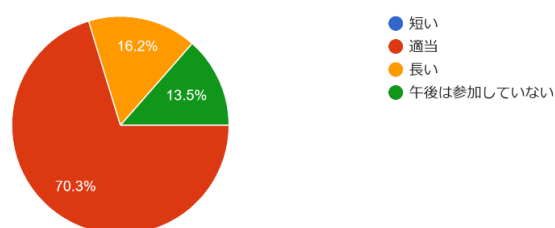


5.助産師交流会（午後）の開催所要時間は適当でしたか。

表4 助産師交流会の開催所要時間

	計	%
①適当	26	70.3
②短い	0	0.0
③長い	6	16.2
④午前は参加していない	5	13.5

図2 助産交流会の開催所要時間



開催時期は適当、開催所要時間についてはセミナーを適当と判断した。交流会の所要時間は7割が適当と答えたものの、長いと回答したものは6名（16.2%）であった。助産師交流会所要時間は、例年時間が短いという在校生からの評価を基に昨年度から30分程度延長したタイムスケジュールで実施しており、昨年度は全員から適当な所要時間と判断されていたことから鑑みると、本年度のみから評価を行うことは妥当ではないと考える。今年度は、在校生が午前中のセミナーから参加しており、午前から参加した学生にとっては1日がかりのイベントが長いと感じた可能性がある。だが、長いと回答した者が在校生か卒業生か評価できない調査にて、次年度は学生か卒業生の回答かが評価可能なアンケートとすることが必要である。

6.【卒業生のみお答えください】本日の出席は業務範囲でしたか。

表5 卒業生：出席方法

	計	%
①業務の範囲で参加	2	13.3
②個人の時間で参加	13	86.7

卒業生の出席は、業務の範囲での参加が2名（13.3%）、個人の時間で参加が13名（86.7%）であった。ほとんどの卒業生が個人の時間で参加をしており、セミナー内容への興味・関心が参加につながったと評価した。業務の範囲で参加した卒業生もあり、今後も職場への案内を継続し卒業生が参加しやすいよう配慮していく。

7.あなたにとってセミナー（午前）はいかがでしたか。

表6 セミナーについて

	計	%
①興味深かった	36	100.0
②役立たないと思った	0	0.0
③午前は参加していない	0	0

8.あなたにとって交流会（午後）はいかがでしたか。

表7 交流会について

	計	%
①興味深かった	30	88.2
②役立たないと思った	0	0.0
③午後は参加していない	4	11.8

助産師セミナー・交流会はどちらも参加者全員が「興味深かった」と回答しており、セミナー・交流会ともに有意義なものであったと評価する。

9.【在校生のみお答えください】以下の該当する項目すべてにチェックをつけてください。（複数回答可）

	計	%
①助産師課程選択の決定に役立った	① 14	66.7
②助産師課程選択の決定に関係なく、助産師に興味が湧いた	② 8	38.1
③助産学を学ぶ意欲が湧いた	③ 11	52.4
④今後の学習に役立つ方法やポイントへのアドバイスを聞いた	④ 18	85.7
⑤就職情報として活用できた	⑤ 12	57.1
⑥助産師になりたいと思った	⑥ 11	52.4
⑦思っていた内容と違い戸惑った	⑦ 0	0.0
⑧来年度も出席したいと思った	⑧ 16	76.2

在校生にとり、今後の学習に役立つ方法・ポイントのアドバイスを聞いたが85%であり、次年度も伝えていく必要がある。また、助産師課程選択の決定、学ぶ意義、就職情報の入手、助産師になることについて、効果的に働いたセミナー&交流会であったとも評価した。

10.【卒業生のみお答えください】以下の該当する項目すべてにチェックをつけてください。(複数回答可)

	計	%
①有意義な時間だった	① 12	80.0
②学生に助産師の仕事を理解してもらえるようアドバイスができた	② 5	33.3
③就職の勧誘に役立った	③ 3	20.0
④明日からの仕事の活力に役立った	④ 9	60.0
⑤思っていた内容と違い戸惑った	⑤ 0	0.0
⑥来年度も出席したいと思った	⑥ 4	26.7

卒業生のうち 8 割の者が有意義で、6 割の者が明日からの仕事の活力に役立ったと回答したことから、セミナー&交流会は一定の評価が得られたと判断した。

11.10 で「有意義な時間だった」とご回答された方は、どのような点でそのように感じましたか。＜自由記述＞

- ・色々なキャリアや考え方を知ることができ、今後のモチベーションにつながったため。
- ・助産師としての働き方の幅広さがわかった。
- ・学生の時の気持ちを思い出してまた頑張ろうと思いました。
- ・自分の今後のキャリアについて、広い視野をもてるようになりました。
- ・助産師課程に行く上で学生の不安なことを知ることができた。自身の病院での働き方についても伝えることが出来た。
- ・キャリアを考えていた時期だったので、参考になりました。やりたいことを探そうと思います。
- ・色々な意見が聞けて、とてもよかったです。
- ・様々なキャリアを積んでいる方の話が聞けて参考になった
- ・大学教員をはじめ、様々な経歴を持つ方を知り、こんな働き方や過ごし方もあるんだなぁととても刺激になりました。

12.助産師セミナー&交流会の内容の希望、意見、改善点等＜自由記述＞

- ・毎年楽しみにしています。今後もよろしくお願いします。
- ・5人の講師の方から様々な情報を聞くことができ、助産師と言っても色んな道があることを知ることが出来た。また、助産師になりたいという気持ちが強くなった。今後の自分の選択の参考にしていきたいと思った。
- ・助産師の仕事は奥が深く、自分の興味のある分野を突き詰めることがキャリアアップにつながると学ぶことができた。
- ・とても興味深い話が多くて参考になりました
- ・とても貴重な体験になりました。これからの進路選択に活かしていきたいです。
- ・漠然と助産師になりたいと考えていただけだったので、今回貴重なお話を聞けてとても貴重な経験になりました。皆さん自分がやりたいことに向けてものすごい活力を持って様々な仕事を行っている姿に尊敬しましたし、私も自分が働く姿を思い描いて日々の学生生活を送りたいと感じました。

- ・色々な年度の卒業生の方からの話を伺えて就職先の選択の参考になったことや、助産選択をした際の1年間の見通しがわかったことがよかった。
- ・卒業すると、卒業生と関わる機会がないため、卒業生や在校生との関われることで、また初心に戻れたり、今後の働き方を再度考え直す貴重なきっかけになりました。教員の方をみていても、とても一生懸命で学生思いであり、今の学生はこの教員のもとで学習できて、恵まれた環境であるなど感じました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・グループの人数が多く、緊張して発言があまりできなかったのも、多い人数のグループでの交流会とさらに少人数やフリーの時間があればより質問などをしやすかったと感じた。
- ・交流会について、先に匿名で質問を募集しておく、話の話題が途切れた時に役立つのではないかと考えた。
- ・骨盤ケア、アロマのケアについて。

自由記述の内容から、本年度も「頑張ろうと思った」といった学生との交流により活力を得られたとの評価があったことに加え、セミナーについて、卒業生がキャリアアップしていくための支援の場とでき、ポートフォリオを描くための一助になり、在校生・卒業生ともに自己の未来のキャリア像を思い描くきっかけになったと考えられる。

次年度の希望は「骨盤ケアやアロマのケア」があり、検討していく。

交流会については、開催方法への意見があったことから内容を吟味し、次年度開催に向け検討

総括

- ・セミナー&交流会は、目的、目標を概ね達成できたものと評価した。
- ・次年度も継続していく。次年度に向け、セミナーのテーマ、交流会開催方法の検討を行う。
- ・アンケート結果の集計方法について、セミナーに対する回答なのか、交流会に対する回答なのか判断できない回答形式であったこと、卒業生・在校生のどちらからの回答なのかわからない回答形式であったことから、評価しにくかった回答があった。次年度はそれらについても改善するよう検討する。

アンケートは全員が回答していないので、アンケートに回答した午前中 37 名、午後 31 名の
詳細な内訳についてはわかりませんが、実際の参加者数を以下に示します。

助産師セミナー

- ・ 4 年生 : 3 名
- ・ 3 年生 : 8 名 (うち 1 名途中退席)
- ・ 2 年生 : 5 名
- ・ 1 年生 : 10 名
- ・ 卒業生 : 14 名

在校生 26 名 + 卒業生 14 名 = 合計 40 名参加

助産師交流会

- ・ 4 年生 : 3 名
- ・ 3 年生 : 7 名
- ・ 2 年生 : 4 名
- ・ 1 年生 : 5 名
- ・ 卒業生 : 13 名

在校生 19 名 + 卒業生 13 名 = 合計 32 名参加

です。